

授 業 科目名	セミナーⅡ 教養演習(基礎教養)	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブ タイトル	高校の教科書をじっくり読む	担当者	小松 伸之			
講義概要	<p>【概要】 高等学校公民科現代社会を事例に、教科書の精読を通じて、教師として必要な能力の基礎を培う。具体的には、教科書の構造の把握、教養の獲得、自身の意見を文章でまとめる、発表・意見交換といった作業を行う。教科書を読み込む作業は、学校で授業を行うための準備である「教材研究」の基本でもあり、内容を正確に理解することやポイントを的確に把握することが求められる。</p> <p>【到達目標】 ○教科書の精読を通して、教科書の内容を理解するとともに、その仕組みを把握し、教材研究の基礎的作業をできるようにする。 ○教科書等の理解を通して、今日の社会を読み解くための基礎的な知識を確認する。 ○自分の考えをまとめ発表することを通して、読解力・表現力を高める、</p>					
履修条件	教職課程を履修している者が望ましいが、教育に関心があれば履修していない者でも可。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】最初の授業で指示する。 【参考書】適宜、教場で指示する。</p>					
授業内容	<p>教師という職業は、専門分野についての深い知識だけがあればよいわけではない。専門知識は当然としたうえで、授業を構成するためには、豊かな教養、幅広いものの見方も必要となってくる。また、成績処理においては所見を書くこととなり、生徒の様子を的確に表現する文章力も求められる。その所見を書くためには生徒の情報が必要であり、その情報を集めるためには生徒との日々の関わりが大切となる。生徒との関係性を構築するためには、コミュニケーション能力や、生徒の話を傾聴する力が前提となることは言うまでもない。ざっと見ただけでも、教師にはさまざまな能力が求められることが理解できよう。</p> <p>本演習では、教科書を読み込むという作業を通して、以上のような教師に求められる諸能力の基礎を培うことをねらいとしている。主な授業内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書の内容の整理、知識の結びつき・構造化</li> <li>②教科書の仕組みの把握、教材研究の実践</li> <li>③自身の考えを文章でまとめる</li> <li>④発表・意見交換</li> </ol> <p>授業とは、学習内容を媒介とした生徒とのコミュニケーションであるといっても過言ではない。まずは内容をきちんと把握することから始めよう。</p>					
評価方法	発表、レポート、平常点を総合的に勘案して評価する。 ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。					
評価基準	授業内容についてよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	特になし					